

3月定例会の概要

3月定例会では、初日に市長から施政方針が示されるとともに平成31年度一般会計予算など11会計の予算案を初め、条例制定案4件、条例の一部改正案6件、平成31年度補正予算案1件、平成30年度補正予算案7件、専決処分の承認1件の計30件が提案され、各常任委員会での審査を経て（一部委員会への付託を省略）いずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日には人事案件1件が追加提案され、原案のとおり可決しました。

（議案の審議結果は10ページをご覧ください。）

平成31年度

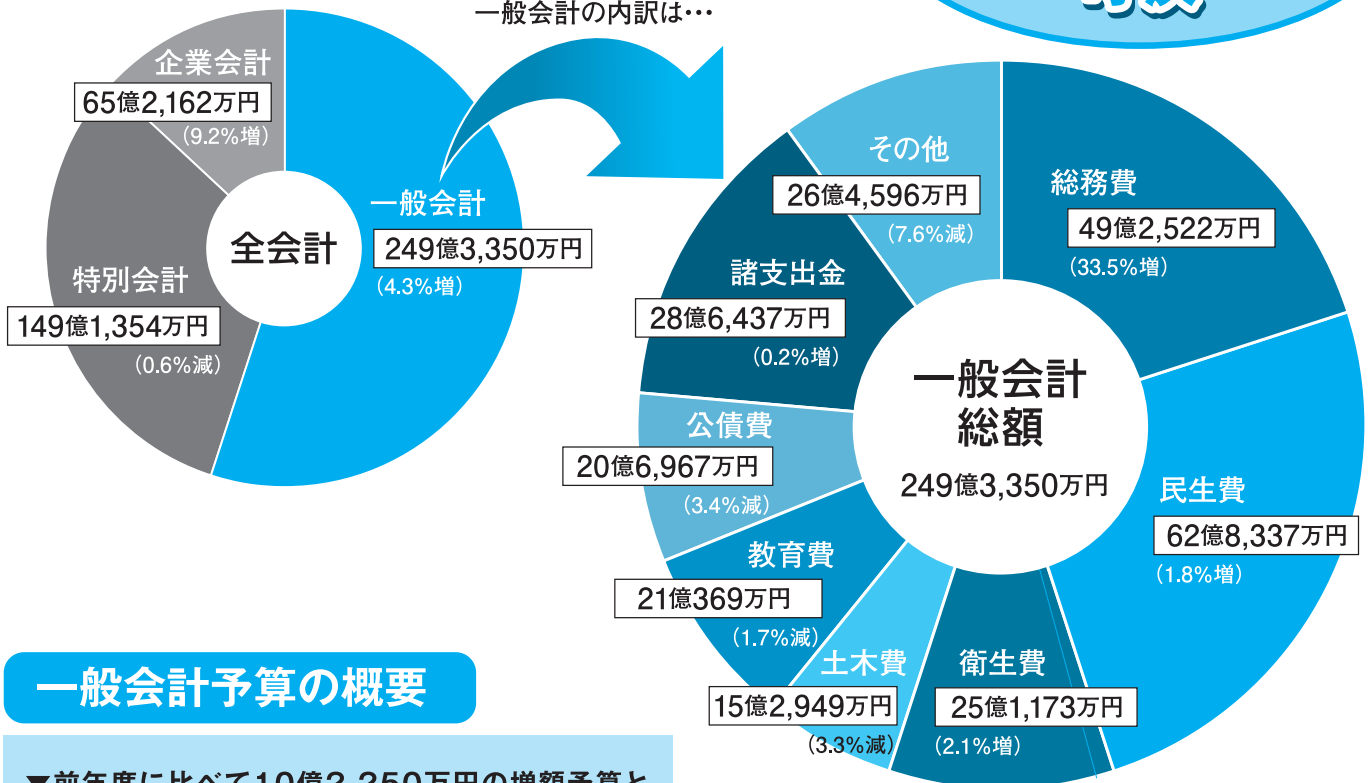
一般会計・特別会計・企業会計予算

総額

463億6,866万円を

可決

一般会計の内訳は…



一般会計予算の概要

- ▼前年度に比べて10億2,250万円の増額予算となっています。
- ▼歳入では、地方交付税は増収が見込めるものの、法人市民税やたばこ税をはじめとする市税において、前年度に比べて8,330万円の減収が見込まれます。
- ▼歳出では、退職手当の減に伴う人件費や公共土木災害復旧費の減額が見込まれる一方で、港湾地震津波対策事業（県委託）や国民健康保険特別会計への繰出金の増額などが見込まれています。さらには、大規模災害発生時に防災性能を有し、市民が安心して利用できるよう、新庁舎の完成に向けた建設事業に積極的な予算投入がなされました。
- ▼人口増対策、特別会計等への財政支援など、その結果生じた財源不足約7億4,000万円については、財政調整基金からの繰入金により対応しました。

用語解説

一般会計

福祉や教育など市民のために広く使われる会計のこと

特別会計

一般会計とは別に国民健康保険事業や下水道事業など、特定の目的のために使われる会計のこと

企業会計

病院事業のように利用者が負担する経費（診察料）によって運営される会計のこと

財政調整基金

年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金、市の貯金のようなもの

